鳥取県がん診療連携協議会　（　地域連携　部会　）　　PDCAサイクル評価シート　令和5年度

【鳥取県の全体目標 】　がんによる死亡者の減少　75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を70.0未満とする
（令和５年度まで）　（男女別の目標値　男性：90.0未満　女性：50.0未満）

【中期目標 】　がんパス適応症例の増加
（令和３年度～令和５年度）

前年度の目標	がんパスの適応症例の増加
前年度Plan	前年度Act
1.全手術症例の把握 2.適応可能症例数の把握 3.適応奨励数の増加 4.私のカルテのアップデート 5.未登録委に対尾する登録の働きかけを行う 6.定期的に部会を開催し活動を充実させる。	1.全手術症例の集計は前年分が半年遅れ程度になることから現在収集中（一部施設では報告あり） 2.適応可能症例数の把握も前年分が半年遅れ程度になることから現在収集中（一部施設では報告あり） 3.各施設ごとの取り組みで増加に取り組んでいただいているが、全県用のパンフレットの作成などもしていただいた。 4.アップデートに関しては議論深まらず、手術で根治となった症例が対象であることもありアップデート自体への希望は多くはない様子であり暫く現行のままで対応する。 5.各医師会で取り組んでいただくよう依頼 6.Zoomでの開催は２回、全大会を合わせると合計４回の開催となったが、なかなか議論は深まっていない

今年度の目標	癌パスの適応症例の増加		
Plan(計画)	Do(実施)	Check（点検・評価）	Act（処置・改善）
1.全手術症例数の把握 2.適応可能症例数の把握 3.適応症例数の増加 4.各医師会での委員会活動の充実 5.定期的に部会をweb開催し活動を充実させる。	1.各施設より2022年の全症例の提出があった 2.適応症例の把握のため各施設より報告があった。 3.適応症例数の増加のため、各施設で活動を展開した。 ４.東中西　それぞれで医師会へ働きかけて頂いた。 ５.2回目のWEB会議を行った。	１．胃癌や大腸癌症例ではESD症例も含まれているようであった。 2.手術症例とその中での紹介症例の集計を依頼したが、紹介症例の内訳が間違っている施設が認められた。 3.昨年末と比較して増加している施設あり、これまで取り組みができていなかった施設の中でも取り組みを活性化させていると報告があった。 ４．西部では登録施設が2施設増えたと報告があった。 5.計画通り行えている。	1.手術症例のみを対象とするように修正が必要であり、各施設に呼びかけた。 2.適正な症例抽出をするように各施設に呼びかけた。 ３．引き続き年後半にむけて啓発はおこなっているよう呼びかけた。 ４.登録施設の増加と、各医師会での委員会活動を啓発するよう呼びかけた。 ５.協議会での内容をfeedbackし部会活動を活性化したい。